

未来医療研究人材養成 拠点形成事業

～メディカル・イノベーション推進人材の養成～

「未来医療研究人材養成拠点形成事業」とは、急速に進化する高齢化等に伴う医療課題の解決に貢献し、国内外の医学・医療の発展を強力に推進するため、新規性・独創性の高い特色ある取組にチャレンジする大学の事業を文部科学省が選定し支援するというものだ。

そして、当事業の2つあるテーマの内のひとつが「メディカル・イノベーション推進人材の養成」である。日本の医療産業の活性化に多大に貢献するため、世界の最先端医療の研究・開発等をリードし、将来的にその成果を国内外に普及できる実行力を備えた人材(イノベーション推進できる人材)を養成することを目的としている。申請された事業の数は38件。その中から10件の事業が選定された。なお、もうひとつのテーマである「IT/サーチャーマインドを持った総合診療医の養成」には59件の事業が申請され、15件が選定されている。

国内外の医学・医療の発展や課題解決に向け、優れた人材の輩出を狙った「未来医療研究人材養成拠点形成事業」(平成25年度予算額:22.5億円)の目的は、ひとこと而言うなら「大学医学部改革」である。選定された大学には、①固定概念にとらわれずに新たな発想で実行すること②アウトプット、アウトカムを年度ごとに明確にすること③学長・学部長等のリタスキップのめとで行うこと④補助期間終了後の事業継続を検討すること⑤他大学の参考になるようにノウハウ、留意点ポイント等を情報発信することなどが求められている。

2つあるテーマの内、「メディカル・イノベーション推進人材の養成」に目を向けてみよう。選定された10の事業の中から目を引くキーワードを拾ってみると、「産官学連携」(群馬大学、「臨床実用化マネジメント人材」(東京大学)、「IQ、EQ画者強化」(東京医科大学)「医工の絆」(長崎大学)などがある。優れた人材の育成という共通の課題を持ちつつ、それぞれ独自性を打ち出している。そうしたなか、金沢大学は「第三の道:医療革新を専門とする医師の養成」を掲げ、当該事業を「第三の道」と再定義することで、同大学が行う教育の方向性を明確に示した。従来、大学医学部卒業者の選択肢は、臨床医と医学研究者の2つが主であった。これに対して同大学は、メーカー(製薬、医療機器等)との連携や起業による研究応用を視野に入れた新たなキャリアパスを戦略的に創出しようとしている。

金沢大学

金沢大学 医療研究推進部 学主 藤岡 浩二 先生
〒920-8640 石川県金沢市三番町 TEL.076-265-2386 97-8660

卒業後も大学に残って研究に関わる医師を増やし、研究の実用化による医療革新を目指す

金沢大学では医学士課程、卒業後初期臨床研究、大学院医学博士課程を「貫した」メディカル・イノベーションコースを設置した。本学の理念は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」です。教育の持つ「継承」の側面として研究の持つ「創造」の側面を大切に、研究を実用化して医療革新を行える医師を育てます(井岡尚一氏)。



井岡尚一先生(専門:組織学)
医療保健研究センター 学部長
事業推進課 課長
学業推進課 課長



網谷清剛先生(専門:疫医学)
医療保健研究センター 学部長
プログラムマネージャー 室長

テクノロジーを用いたホルセン迅速測定法、核医学的画像診断法などをはじめとして、すでに実用化された、あるいは実用化されつつある研究も数多くあります。今後はさらなる効率化によって、基礎研究から臨床応用までの期間の短縮を図ります。よき広い視野に立ち、医療への貢献を志す学生が参加します(米田隆氏)。

英語教育にはグローバル志向の養成という意味合いもある。外国人の患者を相手にするときの語学力。そして、海外の先進的な研究成果にア

セスし、情報発信するための語学力が求められる。「本学では単に英語を話すだけではなく、将来、医療に役立てるための英語教育を行います」(アンドリュース・ジュナイター氏)。

グローバル志向を持ち、研究マインドを養うことは臨床の養育を磨くことにもつながるといえる。「実験の結果をもとにストーリーを組み立てるのが研究です。一方、臨床において、患者さんの身体所見や検査結果をもとにストーリーを組み立てて診断を行



アンドリュース・ジュナイター先生(専門:英語)
医療保健研究センター 学部長
プログラムマネージャー 室長



米田隆先生(専門:内科学)
医療保健研究センター 学部長
プログラムマネージャー 室長

ます。両者には共通点があります(網谷清剛氏)。

メディカル・イノベーションコースでは、大学院院で特定の分野(イノベーション・コア講座)の指導により、初期臨床研修を行い、直ちに金沢院に入る。研究を実用化する方法論を早期に身に付ける仕組みは、薬事・医薬品の規制やマーケティング、知財・特許、倫理法規、臨床試験のデザインといった実践的な授業を数多く含む。独創的なものとなっている。

イノベーション・コア講座における研究例(全12講座)

- 【脳科学専攻 脳情報学】脳磁計を用いた自閉症スペクトラム障害の早期診断/統合失調症におけるカリウムチャネル運送子の働き

キックオフセッションポスター 入場無料

日時 2014年3月6日(木) 14:00～

場所 金沢大学附属病院外来診療棟 4階宝ホール
石川県金沢市三番町13番1号

～文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業
「メディカル・イノベーション推進人材の養成」～

第三の道:医療革新を専門とする医師の養成

- 基調講演「炎症・免疫基礎研究に基づく医療・創薬への貢献」
講師 松島 綱治氏(東京大学医学部・大学院医学系研究科教授)
- コア講座研究紹介

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY